

1 日本茶インストラクターによる 美味しいお茶の実演指導

講師 / 山科康也 山科茶舗代表 日本茶インストラクター

視聴時に 茶葉、急須、お湯、湯のみをご用意ください。

養生会のはじまりは一服のお茶から。かつて英彦山の修験者たちは茶の栽培をしていました。この地とお茶は深い関係にあります。朝倉で茶業を営む山科康也さんに、美味しいお茶の淹れ方を習いましょう。



2 共星の里の黒川庭園と東家(泰庵)づくり

コメンテーター / 尾藤 悦子 共星の里 ゼネラルマネージャー 杉岡 世邦 杉岡製材所
豪雨災害の岩や流木を要素とした「庭」を共創し、再生を進めた様子を紹介しします。

3 短詩五七五、連句の円環

コーディネーター / 知足 美加子 九州大学大学院 芸術工学研究院教授
AI サポート / 田中 圭太郎 九州大学大学院 芸術工学府

被災地の「自然」や「記憶」をテーマに、短詩五七五の下の句を、次の方の上の句に繋ぎながら創造のリレーを行いました。AI「インタラクティブ五七五」も作詩をサポート。様々な「心」の円環を紹介しします。



4 音と身体のワークショップ ー朝倉の子ども達とー

開催場所 / 普門院 国指定重要文化財
創建は天平19年(747)と伝えられる福岡県最古の木造建築物。



AR ジャグリングとジェネラティブアート

制作 / 森 崇彰、嘉松 峻矢 九州大学芸術工学部
AR(拡張現実)とジャグリングを組み合わせたパフォーマンスを行います。また、それぞれの誕生日から生まれる数学的なアートも体験してもらいます。



音狩り

講師 / ゼミソン・ダリル
九州大学大学院 芸術工学研究院 助教
風、水、虫、鳥、木、石の音に耳を澄まし、創造的に再現します。



身体表現

講師 / 永松 美和 バレエ講師
サポーター / 松本 亜樹 あさ・くる
自然の中にある動きを観察して感じ、身体で表現することで子どもたちが自分の存在を深く感じ、確かめていきます。

5 デジタル枯山水「調身・調息・調心」 アートパフォーマンス「共生(ともいき)」

制作 / 密岡稜大 九州大学大学院 芸術工学府 口羽雅晴 九州大学芸術工学部
共星の里で上演された、庭園の岩を活かした「デジタル枯山水」を、オンラインでも上映します。心を静かに整えると、周囲に水紋が広がります。アートパフォーマンスは、場に息づく「共生」の物語を、表現するアート。岩やイチヨウ、演者、光が響きあい、黒川のこれまでとこれからを表現します。

*写真はイメージです。



SOCIAL ART LAB
FACULTY OF DESIGN
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学
ソーシャルアートラボ
《アートと社会包摂》

黒川復興ガーデンと
バイオアート
ー英彦山修験道と禅に習うー

復興支援

黒川庭園と 喫茶アート養生会

リモート鑑賞会

オンライン喫茶実演
+アート鑑賞

参加費無料

2020

11/14(土)

15:00
スタート



17:00 終了予定

YouTube youtu.be/100ral_NnFc

九州大学



大学院芸術工学研究院
大学院芸術工学府
芸術工学部



復興支援

黒川庭園と 喫茶アート・養生会

〈 リモート鑑賞会 〉

オンライン喫茶実演+アート鑑賞

2020

11/14(土)

15:00
スタート



17:00 終了予定

参加費無料

できる限り事前にお申込みください。
開始予定時刻に下記のYouTube
アドレスへアクセスしてください。



youtu.be/100ral_NnFc

九州大学ソーシャルアートラボでは、九州北部豪雨災害被災地を、禅をイメージした「黒川アートガーデン」として再生する取り組みを行ってきました。共に創りあげたこの庭園の中で 2020 年秋、復興支援アートのインスタレーションや様々な交流を行いました。その様子を地域内外の方々と鑑賞し、感じる心を分かちあいます。

コーディネーター / 知足 美加子 九州大学大学院 芸術工学研究院 教授



2020年3月「東屋セルフビルドと植栽」ワークショップの様子

事前お申込み・お問い合わせ

九州大学ソーシャルアートラボ

WEB <http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp>

ウェブサイト内に事前申込みフォームがあります。

TEL/FAX 092-553-4552

MAIL sal-cul@design.kyushu-u.ac.jp

ソーシャルアートラボ



新型コロナウイルスの感染リスク拡大などを受け、内容を変更・または中止とさせていただきます。ご了承ください。

講師プロフィール



山科 康也 やましな やすなり

山科茶舗代表

1962年生まれ。1980年より家業の製茶問屋「山科茶舗」入社。仕入れ・製茶・ブレンドに従事。福岡県茶業青年団団長歴任・日本茶インストラクター福岡県支部支部長歴任。日本茶インストラクター1期生。日本茶鑑定士1期生。



尾藤 悦子 おとう えつこ

共星の里 セネラルマネージャー

福岡県朝倉市生まれ。2000年から母校でもある山里の廃校利用の美術館「共星の里」の立ち上げ・企画・運営を行う。2011年に創作服「Kien」を立ち上げ、ファッションデザイナーとしても活躍している。



杉岡 世邦 すぎおか としくに

杉岡製材所 代表

凸版印刷(株)に5年勤務後、家業を継ぐ。三代目。住宅・社寺・文化財等の木材を請け負う。西日本新聞にて『木挽棟梁のモノサシ(15回)』『住まいのモノサシ(42回)』を連載し、木の魅力を発信した。九州大学非常勤講師、福岡大学非常勤講師。日本茅葺き文化協会理事、日本板倉建築協会理事。



永松 美和 ながまつ みわ

バレエ講師

1965年福岡市出身 西南学院大学卒業。高校在学中、川副バレエ学苑 故川副恵子先生、檜柴躬子先生(現代派)に師事。大学卒業後、一般企業に勤務。1996年~2018年太宰府市生涯学習課のもと、バレエサークルクララ代表講師。2018年より九州大学ソーシャルアートラボの公開講座に参加。



ゼミソン・ダリル Daryl Jamieson

九州大学大学院 芸術工学研究院 助教

1980年、カナダのハリファックス生まれ。ウィルフレッド・ローリエ大で最初の音楽的訓練を受け、その後渡英。ギルドホール音楽演劇学校で修士号、ヨーク大で博士号。文部科学省の奨学生として来日後、東京藝術大学の近藤譲氏に作曲などを学んだ。



知足 美加子 ともたり みかこ

九州大学大学院 芸術工学研究院 教授

彫刻家(国画会会員)。山岳修験道学会評議員(英彦山山伏「知足院」の子孫)。九州大学災害復興支援団。ソーシャルアートラボコアメンバー。九州北部豪雨災害(2017年)の被災木を活かした彫刻や葉を制作している。

運営サポーター

清水 邦義 九州大学大学院 農学研究院准教授

岩間 杏美 油山市民の森 松本 亜樹 あさ・くる

密岡 稜大・田中 圭太郎 九州大学大学院 芸術工学府

口羽 雅晴・嘉松 峻矢・森 崇彰 九州大学芸術工学部

主催：九州大学大学院芸術工学研究院
ソーシャルアートラボ

共催：共星の里、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団

助成：令和2年度文化庁 大学における文化芸術推進事業

後援：九州大学災害復興支援団

九州大学ソーシャルアートラボ

九州大学ソーシャルアートラボは、社会の課題にコミットし、人間どうしの新しいつながりを生み出す芸術実践を「ソーシャルアート」と捉え、新しい生の価値を提示していくことを目的としています。平成30年からは、シリーズ《アートと社会包摂》をテーマとして研究・教育・実践・提言に取り組んでいます。

ウェブサイト：<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/>

